

の耕作をしていて、農作業が
とおり一遍の作業でしかもや
遅れがちのものでした。

そこで、定年を機会に自分
の思う農業をしようと現在は、
野菜を45アール栽培し農作業
を楽しんでいたところだ。

さて、農林水産業が一次産
業であるにもかかわらず財界
にも遊ばれ、やれグロバ
ル化だ、TPPだど騒ぎ立て
られ農政の軸足が見えませ

元来、公的な事柄に対して
は、関わりたくない気持ち
が強く傍観的な立場をとつて

きました。農業委員会のな
かで少しでも日本の農業のあ
り方を勉強したいと思いま

す。又、農業委員会の仕事も
からない現在ですが、その与
えられた責務は遂行しなけれ
ばならないと思っております。

です。よろしく願いま

農業委員として



米村 裕子

幼い頃、祖母と畑に出かけ、
見よう見まねで畑仕事を手
伝った記憶があります。

野菜はほとんど自家用でし
たが、祖母は時々近くの百円
市に出荷しては、幾ばくかの
収入を喜んでいました。当時、
その姿からは農業で収入を得
ることの厳しさしか、私は感
じることができませんでした。

3年前から専業で農業をす
ることになり、継続的に家計
を維持すること、つまり農業
でしっかりと収入を得ること
の難しさを現実味をもって

感じています。と同時に、農
業には、自分で考え実行し、
リスクもリターンも自分で背
負うという無限の可能性やお
金だけでは測れない大切なも
のがあるということも知りま
した。

子どもの頃には気づかなか
った、農業のそうした強み
を多くの人に伝えて、農業を
志す人が増えるよう、また、
荒れてしまった農地の復活を
めざす人が少しでも増えるよ
う、農業委員としての3年間、
微力ながら努力し、取り組ん
でいきたいと思えます。

今なら、雨の日も風の日も
畑に出て鎌を打っていた祖母
の気持ちが、少しわかるよう
な気がしています。

農業委員になって



橋本 猶市

農業委員になり希望のある
3年間でありたいと思いま
す。今の日本経済では農業政
策は厳しい。農家が喜ぶ政策
も講じてくれると思いま
すが、望まれることは、経済の安
定と早急な手段と対応です。

農業委員は、農家の発展を
考えていければとも思いま
すが、今は立派な考案はありま
せん。願うなら農家に対する米価
格を上乗せしていただきたい。
米の先物取引が実施される
ようですので、期待します。

農産物輸出も検討されてるよ
うですが、現在の日本では大
震災の後でもあり難しいの
はないか。何といたって食糧
は、絶対確保しなければいけ
ない、どんなことがあっても

と私は思います。
とにかく今は、現状をみて
対応し、頑張ることが大切な
ことと考えております。

こころがまえ



竹内 肇

今回の改選により、土地改
良区より組織推薦をいただき、
農業委員をお引き受けいたし
ました。

農業生産力の発展及び農業
経営の合理化を図り、農業者
の地位の向上に寄与するため
併せて、圃場整備田の耕作放
棄地をなくすよう努力いたし
ます。

皆様のご指導とご協力をよ
ろしくお願いいたします。

農業委員になっての抱負



澤 義幸

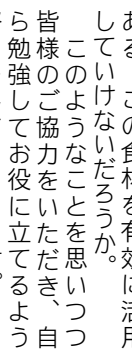
農業委員会委員として今年
から3年間担当することにな
りました。

何をやるのか不安ですが、
農業者の代表として地域農業
の発展のために微力ですが、
少しでも確実に担当する仕事
を前に進めていく努力を惜し
まないことが役割と考えてい
ます。

農業の形態も様変わりし、
大型機械の導入で昔の三チャ
ン農業ではない。重労働と低
所得から解放されるために農
業離れが進んで久しい。農業
を産業化し収益を高めること

により、農業への担い手の意
欲を沸き立たせ、遊休農地を
減らし耕作農地を拡大させる
ことに繋がるような環境づく
りが必要なのではないだろう
か？一方では畑を小さいなが
ら作付けしている農家は沢
山ある。この食材を有効に活用
していけないだろうか。

農業委員になって



中島 玉江

この度、農業委員になりま
した中島玉江です。

私自身の農業への関わりは、
家庭菜園の延長で民宿の自家
製野菜をたしなんでいる程度
です。稲作に関しては、作っ
てくださる方に任せしてい
る状態ですので、本当に農業
委員としてやっていけるのか
少し不安です。が、この任期
期間中には、岩美町が活力の
ある農業・農村を築いていけ
るよう、地域活性化の推進に
努力し、農業の担い手の育成
を進めていけるよう頑張りた
いと思えます。よろしくお願
いします。

農業委員会の活性化 で農業の振興を



北村 凱男

組織推薦委員（鳥取東部農
業共済組合推薦）として2期
目を迎えました。

農業委員の責務は、優良農
地の保全と有効活用による農
業活性化と生産力向上による
農家の所得確保にどのよう
にして係わり合いを持つか、委
員会での関連な討議の中で醸
成させなければならぬと考
えます。

私の所有権のある農地を有
効活用して、安全で安心でき
る農業生産物を消費者に届け、
それにより所得の拡大をはか
り、心豊かな生活を営まなけ
ればならない。

しかし、現在の農村環境は
必ずしもそれが成し遂げられ
るものではありません。農地
法の枠組みの中で、所有と利
用を区別した農地の有効活用
が求められております。

農地のことに係わるそれぞ
れの課題は、まず農業委員会
に相談してください。
農業委員会が法令を遵守した
最善の方策をお示しできるも
のと考えます。

※六次産業とは

農業や水産業などの第一
次産業が食品加工・流通販売
にも業務展開している経営
形態のこと

